



パラオ通信

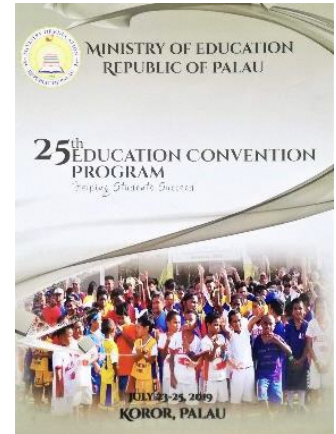
No. 18 / 7/30/2019

JICA 海外協力隊 SV 天野久雄

7月23日から3日間、教育大会がコロール島でありました。教育省が毎年開催するもので、パラオ国内の先生や教育関係者、学校スタッフの人たちが参加しました。

大会の目的はすべての参加者が、教育プログラムに精通すること、教育に関する専門的な知識や技能を身に着けること、責任感や親交を深めることです。

参加者は500人ぐらいでした。パラオにはコロール島まで船で来るのに2日間もかかる島もあります。その島から2人の先生も参加されました。パラオ最南端のトビ島（ハトホベイ州）です。



今回は私を含めて4人の JICA メンバーが発表者として参加しました。最終日の式典では、教育大臣から私たち JICA 隊員の紹介と感謝のことばをいただきました。

それでは3日間の内容を報告します。

1日目 開会式典（オープニング・セレモニー）

1日目の会場はガラマヨン文化センターでした。パラオ通信2で紹介した日本フェアと同じ会場で、コロール島にあるいちばん大きな集会場です。

午前の内容はパラオ大統領や教育大臣、教育省主幹のスピーチ、教育省スタッフによる教育プログラムの説明です。キーノート・スピーカーによる基調演説もありました。

日本でも同じような教育大会があります。でもパラオの大会は内容や雰囲気はかなり違っていました。スピーチをする大統領や教育大臣たちは楽しそうに話します。冗談やユーモアを交えて話します。そして聞いている人たちから笑いが出ます。時には拍手が沸き起こります。日本の講演会のように、下を向いたり寝たりする人はいません。この雰囲気は午後のイベントも同じでした。

午後からの「優秀教師の表彰」にも驚きました。日本ではありえない形式です。まず会場の大きなスクリーンに優秀教師の顔写真や名前、教員歴などが映し出されます。その人には賞金が出て、その金額まで発表されます。それを聞いて聴衆は拍手やお祝いのエールを送ります。賞金は600ドルで、その中から選ばれた最優秀教師には1000ドルが追加されます。そのときの拍手やエールはいちだんと大きくなります。その学校の先生たちはステージに駆け寄って、花束や風船などお祝いグッズを渡します。不思議なことに、その教師が選ばれた理由や業績は発表されません。

今年はペリリュー島の保健体育の先生、アレックスが選ばれました。彼はこれまでに6回も優秀教師に選ばれています。表彰の後に、彼は代表者としてスピーチをしました。



教育省主幹のスピーチ



2019年 最優秀教師 アレックスのスピーチ

講演の後にはネットワーキング・アクティビティがありました。親交を深める活動です。私たちは所属する学校や教育機関で決めたユニフォームを着ているので、違うユニフォームの人たちとグループを作ります。そして自己紹介や音楽に合わせたゲームをするのです。

2日目 研修会 (ワークショップ・セッション)

2日目の研修会場はパラオ高校でした。1セッションは90分間で、午前中が2セッションで午後は1セッションです。内容は教科の指導法や学級経営、学習モチベーションなどです。15教室に分かれて、この日だけで45セッションもありました。

第1セッションでは同僚のヴァネッサが、小学校低学年の指導法をプレゼンしました。私は第2セッションで、小学校と高等学校の数学指導法をプレゼンしました。どちらもゲームを取り入れた授業改善がテーマです。私の発表は「数字カード」を使ったゲームの紹介です。その教育的な効果を説明した後、先生たちに試してもらいました。そのときは、3人のJICA隊員にも手伝ってもらいました。パラオの先生たちは楽しくゲームをしていました。



ヴァネッサの発表



私のプレゼン



ゲームの説明



平野隊員の説明



川端隊員の説明



山下隊員の説明

発表の準備には私の日本での経験だけでなく、パラオで使っている教科書や教師用テキストを参考にして、ゲームを30ぐらい考案しました。そして教師が準備や管理が容易なカード、短時間でできて教育効果の高い数学ゲーム、高校生も楽しめるルールの修正案などの検討をして、12種に絞りました。準備におよそ1か月かかりました。また JICA 隊員にゲームをやってもらい、アドバイスしてもらいました。今回の発表がうまくいったのは、JICA 隊員の協力があったからだと感謝しています。次回は暗算数学（メンタル・マス）を予定しています。



午後の第3セッションでは、3人の JICA 隊員が分数指導について発表しました。小学校での分数指導は難しい分野の一つです。分数の概念は理解できても、正しく計算できるまで指導するのが難しいのです。それは日本の学校でも同じです。以前のパラオ通信14で紹介したように、私たち算数部会のメンバーは3月から分数指導について勉強会を開いてきました。そして今回はその成果を発表しました。

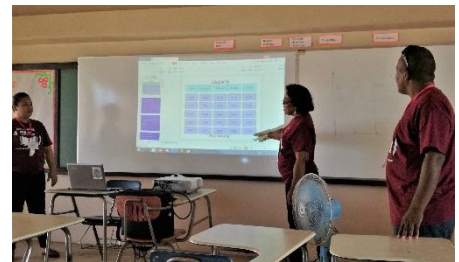
先生用のワークシートも作成し、実際に計算をしてもらいました。全問正解をした先生の答案用紙に“花まる”をつけると、とても喜んでくれたのが印象的でした。計算能力は高くはないですが、パラオの人たちは明るい性格で話すことが大好きです。

3日目 研修会（ワークショップ・セッション）と閉会式典（クロージング・セレモニー）

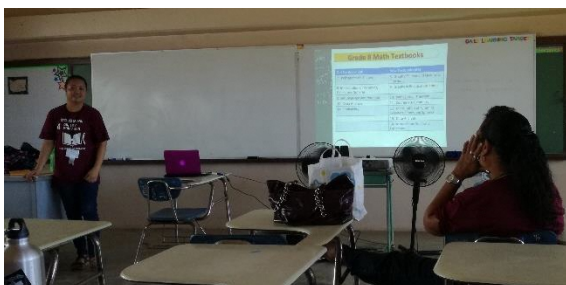
3日目の午前中も講習会がありました。第4セッションでは小学校で導入されているゲームの紹介を選択しました。内容は伝言ゲームと5教科問題のクイズです。

伝言ゲームは英語の短い文章を聞いて次の人に伝えるゲームです。人の話をしっかり聞く、そしてはっきりと伝える訓練です。

5教科問題のクイズは、パネル表示のクイズです。25枚のパネルに隠された問題にグループ対抗で答えます。答えが正しいとパネルに書かれた金額が手に入ります。もちろん金額が大きなパネルには難しい問題が隠されています。



私はこの2つのゲームをほかの参加者と一緒にやってみました。どちらも楽しかったので、出題方法を工夫すれば高校生でも熱中すると思いました。私は10月に実施する先生方の講習会に、これを取り入れることに決めました。



第5セッションでは、新しく採用される小学校7・8年生の教科書の説明を聞きました。代数の内容が増えます。分数計算や負の数も含めた数の計算が丁寧に説明されています。この教科書をしっかり読んでマスターすれば、学生たちは高等学校の勉強で困らないはずだと思います。

閉会の式典は日本パラオ友好ブリッジ（KBブリッジ）の広場でありました。この橋のことはパラオ通信 16（前号）を参考にしてください。

私たちは会場に移動すると弁当が配られました。この3日間は朝食と昼食が無料で配られます。しかも弁当はどれもパラオの一流ホテルから運び込まれます。会場となる広場は景色のよい所で、ステージやテントが特別に設営されていました。

閉会式典はコンベンションの総合評価、教育大臣のスピーチなどです。教育大臣のスピーチでは、私たち JICA 隊員の紹介とパラオの学校教育への貢献について感謝の言葉をいただきました。私たち4人が起立すると、会場からたくさんの拍手が贈られました。

式典は1時間ほどで2時に終わり、そのあとは音楽と“くじ引き大会”です。音楽はプロのバンドが演奏して歌います。歌が好きな先生の飛び入り参加もありました。くじ引きはおよそ30分ごとにあって、参加者はそれも楽しみにしています。

この“くじ引き”は1回で5人から8人ぐらい当選します。景品がとても豪華です。現金やホテルの食事券、エステやネイルの割引券、フラッシュメモリー、本、文房具などがセットになって当たるのです。しかも毎回なのです。

いちばん最後のくじでは、賞金 300 ドルとホテル食事券、グアム旅行まで付いていました。参加者は 500 人ぐらいで、当選者はおよそ 40 人でしょうか。私の同僚も当たりましたが、私たち JICA 隊員は当たりませんでした。 それでは閉会式典の写真を貼っておきます。



閉会式典



ステージ 音楽



ステージ ダンス



参加した JICA 隊員
(川端さん、山下さん、平野さん)



日本パラオ友好橋
(JP Friendship Bridge, Koror Side)

大会を終えて

私は教育コンベンションで発表をして、とても良かったと思います。発表は自主参加ですが、小学校に配属されている JICA 隊員たちも発表しました。講座の参加者たちによる評価では、ほとんどの項目が5段階評価で5でした。ふだんの私たちの活動場所は限られています。でも今回はパラオ国内に広がったと実感しました。

パラオには教員養成の大学や研究機関がありません。先生たちの研修の機会も日本ほど多くはありません。でもこの大会で先生たちの真剣に学ぶ姿をたくさん見ました。私のパラオでの活動はあと1年余りになってしまいましたが、最後まで自分の知識や経験を先生たちに伝えていきたいと思いました。

この話とは関係ないですが、大会で出された弁当がとても美味しかったので紹介します。右は3日目の昼食です。

鶏のから揚げ、魚の香草焼き、キツネ寿司、きゅうりの漬物、フルーツのデザート、ロールケーキ、タロイモ、ゆでた豚肉のピリ辛醤油かけ（小皿）です。



私たちは毎日このような食事をしているわけではありませんが、パラオに旅行できた時はこの程度の食事は普通に食べられます。ぜひパラオに遊びに来てください。

お知らせ



このパラオ通信は17号までになりました。パラオの生活や JICA 隊員たちの活動、そして私の仕事のことを書いてきましたが、今回で終了します。8月から新学期が始まり職場の仕事が急増します。それでこれまでのような取材や原稿づくりの時間がとれません。

いままでパラオ通信を読んでいただき、本当にありがとうございました。パラオに興味を持っていただけたでしょうか。

パラオでの生活や JICA 隊員たちの活動はこれからも記録して整理しておきます。時間に余裕ができるようになったら、またパラオ通信を発行します。おそらく来年の2月ぐらいからです。

では、またお会いしましょう。See you soon!